



学校運営協議会たより

学校運営協議会「コミュニティ・スクール」とは

大郷小学校では、令和3年1月20日に学校運営協議会が発足し、今年5年目を迎えます。市内の小中学校でも令和4年度中に全校に設置されました。学校運営協議会が設置された学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みができた学校です。「コミ・スク」では、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

学校運営協議会には、主に以下の3つの役割があります。

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる
- ③教職員の任用に関して教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べる
ことができる

今年度の大郷小学校学校運営協議会委員の皆様は以下の方々をお願いしております。今年度より新規の委員の方には、山形市教育委員会からの任命状を手交させていただきました。

今年度の学校運営協議会委員の皆様

No.	役 職	氏 名	地区・学校での役職等
1	会 長	近藤 健一 様	大郷コミュニティセンター所長
2	副会長	中村 明千 様	教育後援会会長
3	委 員	伊藤 博夫 様	町内会連合会会長・見守り隊会長
4	委 員	丹野 壽美 様	民生委員・児童委員協議会副会長
5	委 員	奥山 亮 様	大郷小PTA会長
6	委 員	安達 裕子 様	山形市立いずみ保育園園長
7	委 員	櫻井 淑実 様	主任児童委員
8	委 員	松井 愛 様	ほっとるうむ共同代表
9	委 員	相田 真弓 様	大郷こどもクラブ支援員代表
10	委 員	秋楸 直人 様	絆の会代表

第1回学校運営協議会の内容について

今年度は、6月18日（木）に第1回の学校運営協議会を開催しました。当日は、委員の皆様へ全学級の授業を参観いただき、校長から「学校経営の方針」「学校課題と取り組み方針」などについて説明させていただきました。その後、委員の皆様から、学校運営に関してのご感想やご意見を頂戴しました。

1 「学校教育目標」と「めざす子供の姿」について

（1）学校教育目標『自立と共生 誇りと信頼』

＜自立＞「子供も教職員も学び続ける学校」

＜共生＞「自他のいのちを大切にする学校」

＜誇り＞「地域を愛し、誇りにする学校」

＜信頼＞「応援され、支援される学校」

（2）めざす子供の姿『こころゆたかに かしこく たくましく』

＜こころゆたかに＞正義が通る集団をつくり、互いに相手を思いやり、自他を大切にする姿

＜かしこく＞学ぶことの意義や楽しさを知り、自ら進んで学ぼうとする姿

＜たくましく＞仲間と共に高め合い、学び合う活動の喜びを知り、次の学びへと前進する姿

2 学校課題と取り組み方針について

（1）安全な学校づくり

①熱中症への対応（児童・保護者への啓発、ソラテナ・WBGT の活用、水分補給の徹底）

②クマ等の野生動物出没時の対応（校外活動の見直し、出没時に備えた対応物品の整備）

③緊急時における連携体制の確認（引き渡し訓練の実施、交番・見守り隊との連携）

（2）子どもたちが安心できる居場所づくり

①「ほっとるうむ」の環境整備とスタッフとの連携

②児童・保護者との関係づくり（家庭との情報共有の場の設定、つながる機会の創出）

③外部機関との連携（スクールカウンセラーとの連携、訪問看護サービスとの情報共有）

（3）学力の定着に向けて

①主体的に学ぶ児童を育てる授業づくり（ICT 機器のさらなる活用、表現力の育成）

②読書活動の推進（朝読書の設定、電子書籍の活用）

③家庭・中学校区との連携（「セブン・プライド」の取組継続、学習の手引きの活用）

（4）施設の改修・修繕について（今年度の修理・改修計画）

①非常扉（階段登り口）の老朽化に伴う改修工事（東階段と西階段）

②1階廊下床タイルの補修

（5）その他

①働き方改革・教育やまがた人材バンクについて（県教育局資料より）

②非常災害等発生時における危機管理対応について

3 委員の皆様からのご感想やご意見

委員の皆様からは、子供たちの成長や学習に落ち着いて取り組む様子について、お褒めの言葉をいただきました。子どもたちの安全を守るために、これまで以上に幅広く地域の方へ協力を依頼する体制づくりや、運動会時の児童テントの調達方法等についてご提案いただきました。また、学校現場の人員配置や働き方改革等、学校の現状についてもご理解いただきました。今回いただいたご意見を今後の学校運営につなげてまいります。